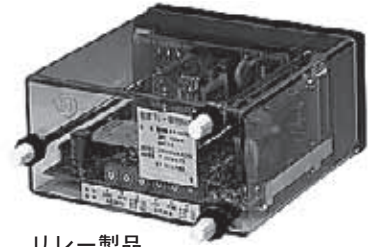


栃木日信株式会社

所在地 栃木県下都賀郡野木町大字野木 141-7  
 従業員数 46 名  
 主な事業内容 鉄道信号保安装置に使用するプラスチック部品の生産



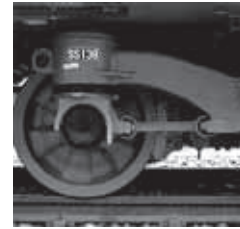
リレー製品

当社は日本信号㈱のグループ会社として昭和 32 年に創業し、平成 12 年 3 月にこの野木町に移転してまいりました。

主に日本信号（株）の鉄道信号システムに使われるリレー製品のプラスチック部品、車両の運転保安上必須のものである列車のブレーキシュー及び衝突や脱線などの事故を防ぐための装置である ATS（自動列車停止装置）関連製品の生産を行っております。

日本信号（株）の技術は世界に誇れる安全で正確な鉄道信号システムを作り上げることで日本の鉄道を支えてまいりました。

私たちは、今後も日本信号グループの一員として「安全と信頼」の優れたテクノロジーを通じて、より安心、快適な社会の実現に貢献し、野木町とともに更なる発展を目指します。



ブレーキシュー



ATS地上子

《社員のひとこと》

日本信号グループの一社員として、社会の安全に関われる事を誇りに思います。今後も地域貢献活動に参加するなど、野木町、地域に貢献してまいります。  
 (総務課 森 真理)

広報連絡委員レポート No.365

終章学



広報連絡委員  
川元 由美子

野木町に移り住んで28年になります。自然環境が良くて学校や病院が近くにある、JR宇都宮線1本で都心にも行けるこの町は、暮らしやすく、子育てするにはとても良い所と思います、移り住みました。

漫談ではありませんが、「あれから30年」子育てや義母の見取りを経て、いよいよ自身の高齢化と向き合う頃になりました。住む処に求めるものも「老後を安心して暮らせるか」ということと変わってきました。健康維持やリハビリのための施設、介護や生活支援の体制などについての町の状況に関心を持たねばと思うようになりました。そして、自身がまずしなければならぬことは何だろう。とお盆に親の墓まいりをしながらふと考えました。子供たちの行く末や自分たちの健康、暮らしのことなど心配事は尽きません。でも時はおかまいなく過ぎて

いきます。

家事そっこので行なっているボランティア活動も、手を広げ過ぎて身動きが取れない状態で、やるべきことを後回しにしてはいないか。そういった反省の念に駆られました。

そんな折「とちぎ終章学」という文字がなぜか目に飛び込んできました。

栃木県民の意識調査の中で、県民が一番地域の課題だと認識していることが「高齢化」に関することだそうです。人生最後の時期を困難や苦しさの中で過ごしていくのではなく、どのように豊かに、幸せに暮らしていくかという問いと、高齢化という課題をポジティブに捉え直していこうという願いが込められているのが「とちぎ終章学」とのこと。気持ちだけは昔と変わらないけれど、「老いを冷静に受け止め、その支度を始める」、そんな学びも今必要なのかもしれません。

